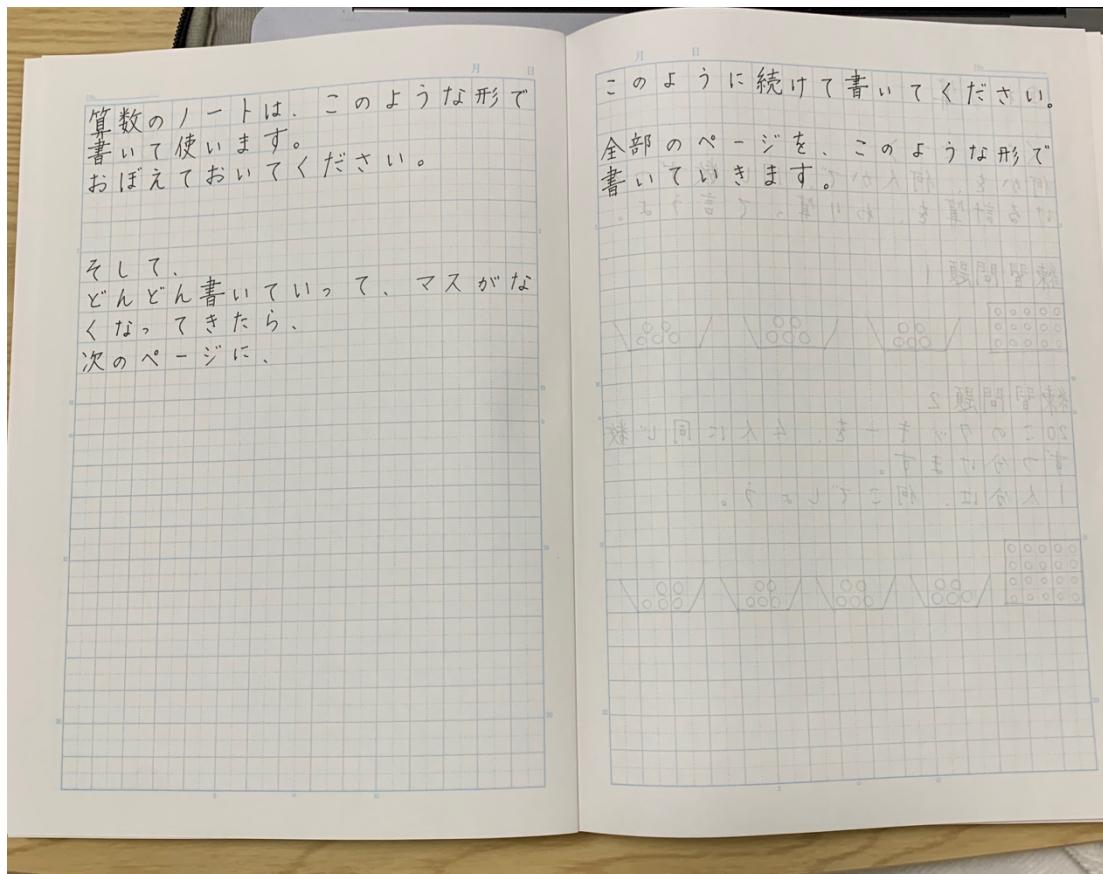


3年生 算数

第2回 5月13日

学習の進め方

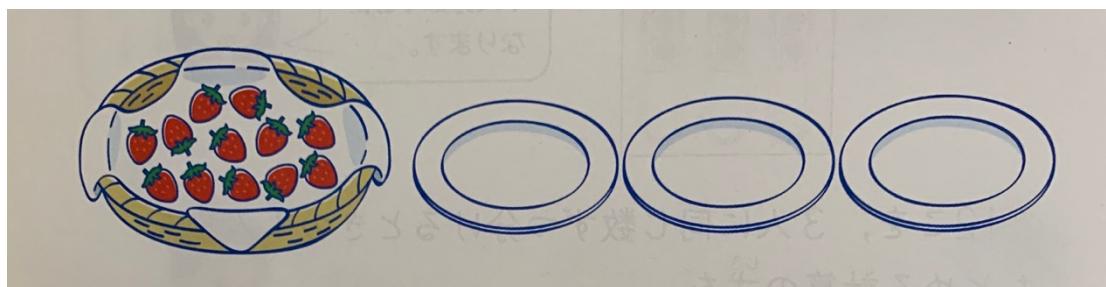
- 1 ノートを用意する。教科書は使いません。
- 2 「進め方ワーク」を読みながら、学習を進めていく。
- 3 ノートは写真のように、使っていく。



算数 第2回 進め方ワーク

1 今から第2回算数の学習をはじめます。よろしくお願ひします。

2 前回の学習の「思い出しタイム」からはじめましょう。



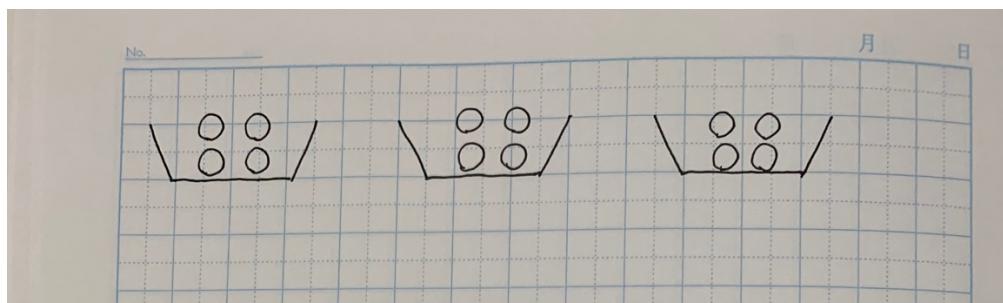
12個のいちごを、3人で同じ数ずつ分けます。

一人分は、何個でしょう？

覚えてる？ さあ、考えてみて！

そうだよね。

答えは、



一人分は、4個だね。

で、こういう計算のことを、

「○○算」っていうんだったね！

そうそう、

「わり算」だったね。

普段から、こういう分け方って、やってるよね！

3 では、ここからが、今日の新しい学習だよ！

今、みんなは、イラストを見ながら、頭の中で、「何個ずつかなあ、、、」っていちごの数を数えて考えたと思うけど、

その考えを、「式」に表すことができるんだよ。

「わり算」せんようの「式」があるんだ。

ところで、「式」って覚えてる？

たし算の「式」は → $8 + 4 = 12$ こんなのだね。

ひき算の「式」は → $15 - 7 = 8$ こんなのだね。

かけ算の「式」は → $6 \times 3 = 18$ こんなのだね。

じゃあ、わり算の式は？

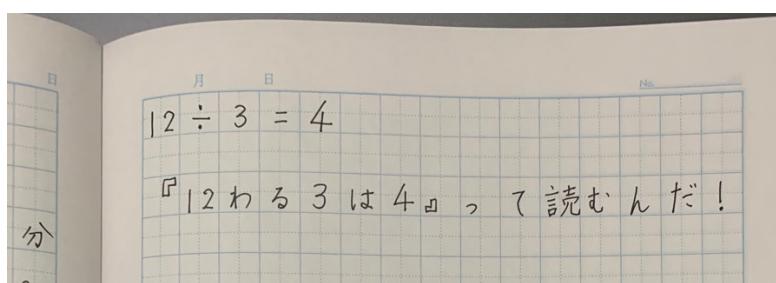
わり算の式は、

「÷」こんなマークを使って書くんだよ。

今のいちごの問題は、

$12 \div 3 = 4$ 『12わる3は4』って読むんだ！

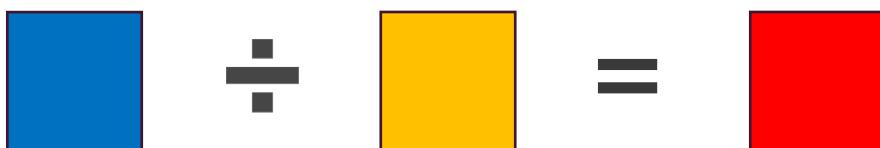
よし、ノートの前回の続きを、この式をうつしてみよう！



次は、この $12 \div 3 = 4$ の式をくわしく説明するね。

「わり算」っていうのは、何回も言ってる通り、
何かを、何人かで、同じ数ずつ、分ける、計算のことだよ。

で、それを式にするときには、



何かを

何人かで

同じ数ずつ

こんな風に式は作られているんだ。

数を書く場所がめちゃくちゃ大切なポイントだよ！

だから、

12個を、3人で、同じ数ずつ、分ける計算の式は、

12 ÷ 3 = 4

になるんだ！

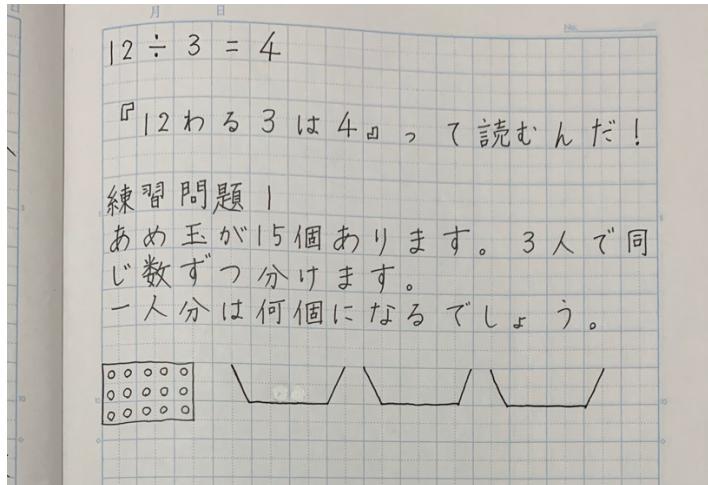
それじゃあ、わり算の式をつくる練習をしてみよう！

練習問題1

あめ玉が15個あります。3人で同じ数ずつ分けます。

一人分は何個になるでしょう？

ノートにうつして考えてみよう。（次のページにノートの写真があるよ）

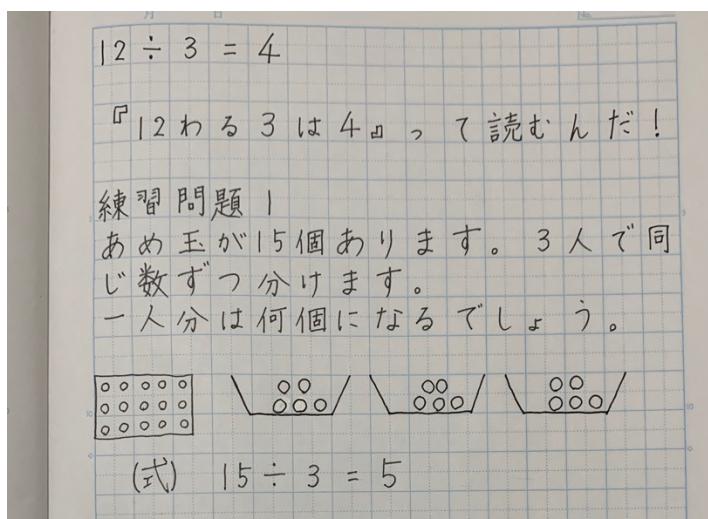


うまくできたかな？確認しよう！

15個を、3人で、同じ数ずつ、分ける計算の式だから、

15 ÷ 3 = 5

になるよ！



じゃあ、練習問題2をやろう。

練習問題2

20個のクッキーを、4人に同じ数ずつ分けます。一人分は何個でしょう？

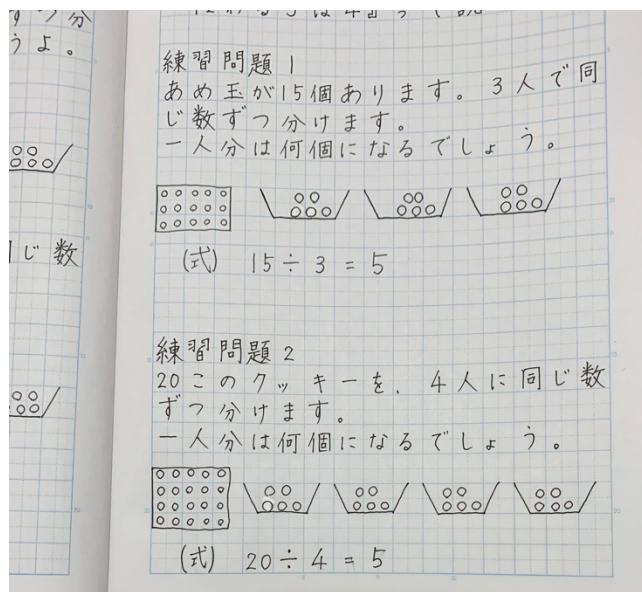
さあ、ノートにこの問題を書いて、どんな式になるか考えてみよう。

うまくできたかな？確認しよう！

20個を、4人で、同じ数ずつ、分ける計算の式だから、

$$20 \div 4 = 5$$

になるよ！



4 今日の学習はここまで。

今日は「わり算」の「式」の書き方について学習しました。

わり算の式は、

何かを、何人かで、同じ数ずつ、分ける、計算のこと。

で、それを式にするときには、

何かを

何人かで

同じ数ずつ

こんな風に式は作られていたね。

5 今回の宿題

- ①わり算の「式」のしくみを、お家の人に紹介する。
 - ②自分で、1問、わり算の問題を考えて、それを式で表してみる。
- それでは、第2回算数の学習を終わります。
- ありがとうございました。